

STOP! ATMでの携帯電話

ニセ電話詐欺被害防止に向けた 広報啓発動画の県下一斉配信



県警察では、ニセ電話詐欺(還付金詐欺)を防止するため、令和3年12月1日からATM周辺での携帯電話の自粛を求める「STOP!ATMでの携帯電話」の取組を開始しました。

本取組の更なる周知を図るため、ニセ電話詐欺特別防犯支援官であるHKT48のメンバー2名が出演する広報啓発動画を制作し、街頭ビジョン等を通じて配信しています。

ATM周辺で携帯電話を利用されている方を見かけた際は、皆さんで声を掛け合って、ニセ電話詐欺を防ぎましょう。



HKT48 豊永阿紀さん・坂口理子さん

福岡県警のホームページ、YouTube「福岡県警公式チャンネル」でHKT48のメンバーによるメッセージ動画を公開しています。

動画はこちらから!



ニセ電話 vol.25

気づかせ隊通信

電話でお金はすべて詐欺!
すぐに相談・110番!



発行・編集

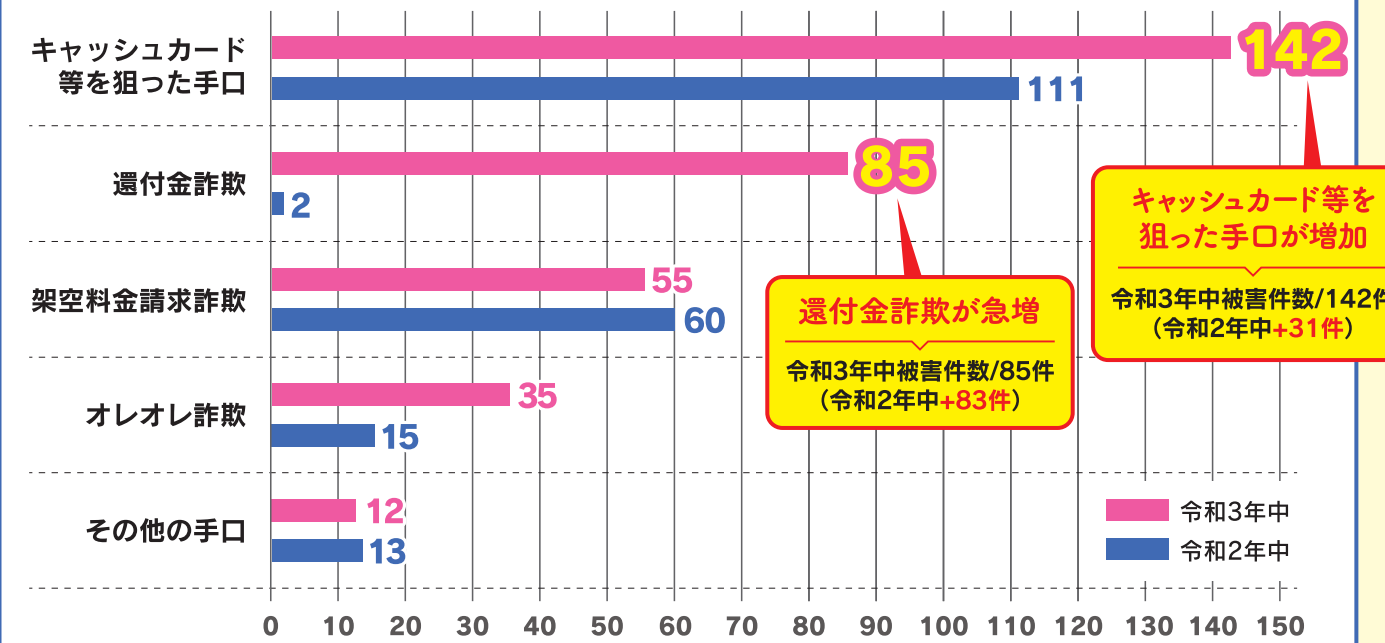
福岡県警察本部生活安全総務課
<https://www.police.pref.fukuoka.jp>
住所 〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
TEL 092(641)4141(内線3024,3025)
開庁時間 平日 9:00 ~ 17:45



福岡県内のニセ電話詐欺の現状

令和3年中

手口別の発生状況



認知件数、被害額ともに急増

認知件数 令和3年中 329件 (令和2年中 201件) 被害額 令和3年中 約7億6,460万円 (令和2年中 3億8,854万円)

気づかせ隊参加団体数 1万1,976団体 気づかせ隊参加人数 37万1,141人

被害阻止件数 633件 (前年比 +290件) 被害阻止額 約2億729万円 (前年比 +1億4,090万円)

ニセ電話気づかせ隊表彰団体活動紹介

金融機関部門

福岡ひびき信用金庫

全職員が閲覧するシステムに被害事例及び被害阻止事例を詳細に掲載し、情報共有を行うことにより被害未然防止の意識向上を図っています。

営業店で受け付けた「現金持ち帰りアンケート」を本部で回収し、聞き取り内容に甘さがある店舗については、電話等で一歩踏み込んだ聞き取り指導を行っています。



株式会社福岡銀行雑餉隈支店

ニセ電話詐欺は、水際対策を実施することが重要であり、詐欺被害に遭っていると思料されるお客様に対し、積極的に声掛け等を行っています。

特に、高齢のお客様に対する声かけを積極的に行い、実際にオレオレ詐欺の被害を阻止することができました。



株式会社福岡中央銀行二日市支店

高齢者が高額な現金を持ち帰る等の場合には、「ご出金されるお客様への安全・安心アンケート」を利用する等、詐欺被害に係る注意喚起を行っています。

警察から周辺地域における警戒情報を受けた場合は、職員間で情報共有を行い、通常よりレベルを一段階上げた警戒を行っています。



株式会社西日本シティ銀行惣利支店

西日本シティ銀行本部から、ニセ電話に関する示達があった場合には、朝礼や窓口終了後等に、従業員に対して指示・伝達しています。

ニセ電話気づかせマイスターに認定された職員が、3回目の被害防止に貢献し、警察署から感謝状が贈呈されました。



一般団体部門

九州旅客鉄道株式会社門司駅

不特定多数の乗降客が往来する駅舎及び周辺道路等の清掃活動を利用して、ニセ電話詐欺被害防止への注意喚起を行っています。

構内アナウンス機能を利用し、被害者層に向けたニセ電話詐欺被害防止アナウンスを定期的に行っています。



第一生命保険株式会社八幡営業オフィス

点呼の際に、オフィス長から隊員に対し、ニセ電話詐欺の流行の手法を説明し、情報共有しており、全隊員のニセ電話詐欺に関する意識を高めています。

地域に根付いた訪問型の保険営業である特性を生かし、訪問の際にニセ電話詐欺のチラシを交付し説明する等、地域住民への広報啓発を行っています。



セブンイレブン黒崎コムシティ店

セブンイレブン黒崎コムシティ店では、電子マネーコーナーやコピー機にスイングポップを貼付し、注意喚起を行っています。

また、購入者に対して、広報啓発用収納袋に電子マネーを入れて渡すほか、特に、高齢者が電子マネー購入を希望する場合には積極的に声掛けを行い、水際対策を徹底しています。



セブンイレブン福岡花畑2丁目店

パート、アルバイトの採用時にニセ電話に関する教養を実施しているほか、被害阻止の情報等を従業員内で共有することで、従業員の士気を高めています。

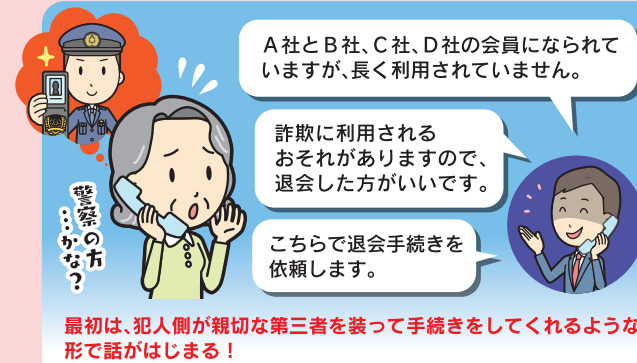
電話をしながら入店する高齢者や高額なカードの購入者等の不審な行動をとるお客様に気を配り、積極的な声掛けを実施しています。



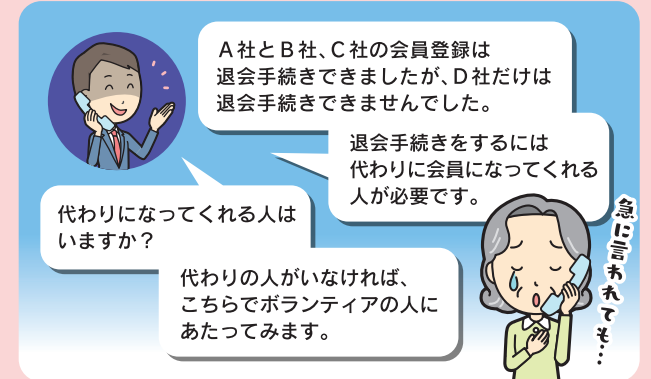
高額被害に発展する架空料金請求詐欺の主な手回

名義貸しによる刑事罰を回避するための示談金等を請求するニセ電話

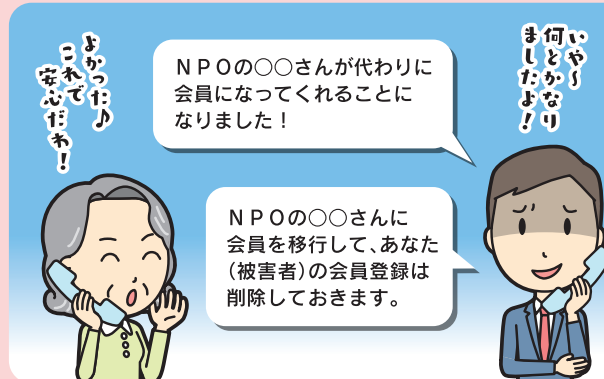
1 自宅の固定電話に警察官や生活相談センターの職員等を名乗る者からの電話！



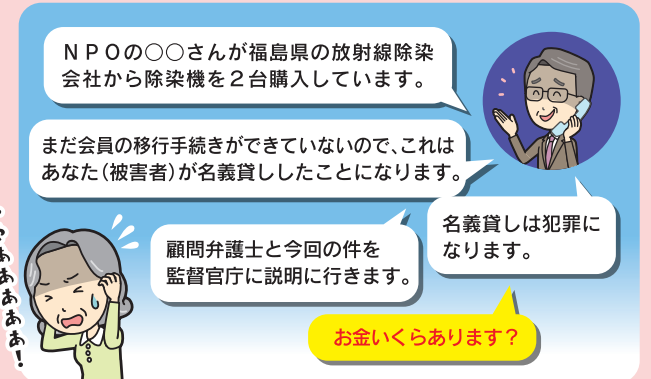
2 早ければその日の内か、後日に①の者から手続きの状況に関する電話！



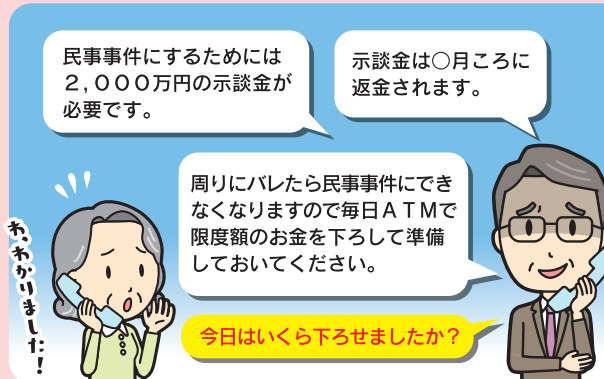
3 そしてその日の内か、後日に①の者から代りの人が見つかったという電話！



4 後日、会員登録の削除ができるはずだったD社の社員を名乗る者から電話！



5 D社の社員を名乗る者と連続した電話！



6 出金したお金が数百万円になったら公園等に誘い出して受け子がお金を取りに来る！



★1回目のお金の受け渡しが行われた以降は、「あと〇〇円必要だ」等という金銭要求が続き、被害者に数百万円のお金が準備できた段階で受け子がお金を取りに来ることが、約1か月から2か月にわたって繰り返される！

★多額のお金をだまし取られ、犯人側との連絡が途絶えたところで警察に相談して発覚！

電話でお金はすべて詐欺！
すぐに相談・110番！

防犯のポイント

- ◆ 電話でお金の話が出たらすぐに周囲の人にも相談しましょう！
- ◆ 知らない人にお金を渡してはいけません！
- ◆ 公的機関が公園等に誘い出してお金を受け取ることはありません！

